

国語科学習指導案

日 時 平成26年10月8日(火) 5校時
場 所 宿戸中学校 3年生教室
学 級 3年生(男子11名 女子9名 計20名)
指導者 教諭 大矢 多恵子

1 単元名 書く[論証・説得]「観察・分析して論じよう 批評文」

2 単元について

(1) 教材観

この単元は、対象の特徴を捉える視点を学び、根拠をもって説得力のある批評文を書くことをねらっている。本単元は、学習指導要領言語活動例(2)ア 書くこと「関心のある事柄について批評する文章を書く言語活動」を参考に単元を構成する。本教材でつきたい力は、論理の展開を工夫し、既習事項を活用しながら資料を適切に引用して説得力のある文章を書く力と、それらを交流し互いの良さを自らの表現に役立てる力である。

本単元における基礎的・基本的な内容は、既習の言語活動である、伝えたい事実や事柄について自分の考えの根拠を明確にして文章を書くこと、段落の役割を考えて文章を構成することである。それに加え、重点指導事項として、対象を客観的に把握するための「観察」・「分析」の作業をしっかり行うこと、文章に説得力をもたせるための適切な表現を用いることと捉える。

本単元の学習の最後に、「商品がいちばん売れるポスターはどれ?～説得力のある批評文を書こう～」と題して、批評する文章を書く活動を設定する。この活動を通じて、社会生活にかかわる様々な出来事や事物を批評する力をつけ、自らの批評が客観的かどうか、説得力をもたせるために適切な情報を引用できているかなどを批評文の交流によって互いに気づかせていきたい。

(2) 生徒観

生徒は、第1学年の『根拠を明確にして書こう』で、明確な根拠をあげて文章を書くこと、『分かりやすく書こう』で、伝えたい事実や事柄を分かりやすく説明する方法を、第2学年では、『反対意見を想定して書こう』で、論理の展開を工夫して書くことを学習している。しかし、自分の評価を相手に分かりやすく伝えることや、積極的に問題解決に取り組む意欲の乏しい生徒も見られる。

そこで、本単元では、ユニバーサルデザインの考え方による視覚支援や少人数での学習形態を取り入れて、生徒全員が学習活動に積極的に参加し、基礎・基本を確実に身に付けられるような指導を心がけたい。

(3) 指導観

批評文に関しては、今までに小説の批評文やブックレビューを書く活動に取り組んできた。また、複数の候補から一つを選んで根拠を明らかにして文章を書くという活動も行っている。本教材の指導に当たっては、説得力のある批評文を書かせるために、

批評の手順を理解させたい。まず、複数のポスターを観察・分析・比較させる。対象を観察・分析・比較して自分なりの判断を下すことで、単なる好き嫌いによる批評ではなく、文章に説得力をもたせることができる。また、資料を効果的に引用することも重要である。自分なりの観点をもって批評することは、今後の日常生活においてさまざまな場面で行われるものなので、社会生活でも役立つ学習であることを意識させ、主体的に学習に取り組ませていきたい。

3 単元の目標

[国語への関心・意欲・態度]

- ・ 批評の対象について自分の立場や意見を明確にして、批評する文章を書こうとしている。

[書くこと]

- ・ 社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに、文章の形態を選択して適切な構成を工夫することができる。
- ・ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある批評文を書くことができる。

[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]

- ・ 和語・漢語・外来語などの使い分けや言葉のニュアンスを知り、適切な語句を使うことができる。

4 単元の指導・評価計画

| 次 | 時 | 学習内容 | 国語への関心 ・意欲・態度 | 書くこと | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 |
|---|---|--|--|---|---|
| 一 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元の見直しをもつ。 ・ 批評文を書く手順を知る。 ・ チョコレートのポスターに関する批評文のモデル文を読み、資料の並行読書始める。 | 学習内容の見直しをもち、学習に意欲を示している。 | 社会生活の中から課題を決め、ロゴマークについて集めた材料を整理し、その特徴を箇条書きで書き出している。 | |
| 二 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「マイボトル」のポスターを観察、分析をする。 | | 「マイボトル」の3枚のポスターについて観察し、その特徴を分類、整理している。 | |
| | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「マイボトル」のポスターの批評文の例をもとに、書き方を捉える。 | | 論理の展開の工夫や、資料の引用のしかたなど説得力のある文章の書き方を捉える。 | 説得力のある文章にするための言葉の適切な使い方に気づく。 |
| 三 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「チョコレート」のポスターの観察・分析をする。 | | 複数の資料をもとに、批評にあたっての自分の意見の中心を明らかにして1枚のポスターを選んでいる。 | |
| | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 選んだ1枚のポスターについて、批評文を書く。 | | 論理の展開を工夫し、根拠や資料の引用が適切かを考えて批評文を書いている。 | 説得力をもたせたり、読者をひきつけたりするために、漢語・和語・外来語のニュアンスを知り、適切な語句を選択している。 |
| | 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 批評文を交流するとともに、単元全体の学習を振り返る。 | 自分の批評文と他者の文章を比べ、説得力をもたせるための文章の書き方や引用のしかたについて話し合っている。 | 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開や表現の仕方について評価して自分の表現に役立てようとしている。 | |

5 本時について

(1) 目標

3枚のポスターを観察・分析し、各ポスターの意図を捉え、それぞれの違いを明らかにしたうえで販売促進のための1枚を選ぶことができる。 [書くこと]

(2) 評価規準

| | 評価規準 | 支援を要する生徒への手立て |
|------|---|---|
| 書くこと | <ul style="list-style-type: none">3枚を比較し、違いを明らかにして1枚のポスターを選ぶことができる。 | <ul style="list-style-type: none">「文字」と「画像」に分けて特徴を捉えさせる。ポスターの意図をどこに置くべきか考えさせる。 |

(3) 指導の構想（校内研究との関わり）

① 学習意欲を喚起し継続させる指導方法について

- 導入の活動で、批評文を書く際に大切なポイントをペアで確認させる。
- 複数の対象を検討し、そのうちの一つを選択してその根拠を述べるという、これまで学習した知識・技能を活用させる。
- 社会生活において役立つ学習であることを意識させるために「チョコレートの販売促進用のポスターを選ぶ」という設定で主体的に学習に取り組ませる。

② 活動について

- 教科書やモデル例の内容を理解し、対象を観察して気づいたことを挙げさせる。
- それぞれの特徴について分析し、各ポスターの作り手の意図について考えたことを少人数グループで交流することで考えを深めさせる。
(「わかる」活動の工夫)
- 対象を分析的に捉え、観点を明らかにして1枚のポスターを選ばせる。
(「できる」活動の工夫)

③ 一人ひとりを見取る方法について

- 学習シートに観察・分析した内容を記入させて回収し、一人ひとりの理解度を見取る。
- 単元を通した評価カードを毎時間記入させる。

(4) 展 開

| | 学 習 内 容 | 学 習 活 動 | 指導上の留意点(・) ユニバーサルデザイン(◎) 評価(□) |
|--------------------------------|---|--|--|
| 導 入 10 分 | 1 既習内容の確認 2 課題設定 | 1 前時までの学習内容を想起し、手順をペアで確認する。 2 本時の課題を確認する。 | ◎ 本時の流れを示す。 ◎ 説得力のある批評文に必要なポイントや書く手順を黒板に表示する。 ・ 今回のポスターを選ぶ際の場面設定を確認する。 |
| | 商品がいちばん売れるポスターはどれ？ ～3枚のポスターの違いを明らかにするにはどうしたらよいか～ | | |
| 展 開 30 分 | 3 解決のための見通し 4 課題解決 5 解決方法の利用 | 3 観察のポイントをペアで確認する。 4 対象を観察する。 「わかる」 ・ 3枚のポスターのイラストやキャッチコピーなどを観察して、それぞれの特徴を学習シートに書き出す。 ・ グループ内で意見を交換し、考えを深める。 5 3枚のポスターを分析・比較し、どれがよいか判断する。 「できる」 ・ 3枚のポスターの中から、理由を明らかにして1枚を選ぶ。 | ・ それぞれのポスターが、どんな人を対象にしているかも考えさせる。 書 3枚のポスターについて複数の特徴を書き出している。(観察・発表・学習シート) ・ 3枚のポスターを比較し、どれが最もよいと思うか判断させる。 書 3枚を比較し、理由を明らかにして1枚のポスターを選ぶことができる。(観察・発表・学習シート) |
| ま と め 10 分 | 6 学習内容のまとめ 7 次時の内容の確認 | 6 授業を振り返り、今日の学習からできるようになったことをまとめる。 (例) 「目的や意図に応じてそれぞれの特徴があり、その中から自分の考えを明らかにして1枚を選ぶことができた。」 7 本時選んだポスターについて、批評文を書くことを確認する。 | ・ 学習シートに自己評価させる。 ・ 数人を指名し、次時の学習につながる意見を取り上げる。 |

単元の指導計画

教科 国語 (3 年) 単元名 書く[論証・説得]「観察・分析して論じよう 批評文」

| 単元の目標 | | 批評の対象について、論理の展開を工夫し、観察・分析したり、資料を適切に引用したりして説得力のある批評文を書こう。 | | |
|---------|---|---|---|--|
| 時 | めざすゴール像 「～できる」 | 「わかる」活動の工夫 | 「できる」活動の工夫 | 一人ひとりを見取る方法 |
| 1 | 批評文を書く方法について知る。 | <ul style="list-style-type: none"> 対象を観察するためのポイントを教科書を読んで確認させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 練習問題に取り組みさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 学習シート（評価シート） 発表 |
| 2 | 「マイボトル」についての複数のポスターを観察・分析し、自分が良いと思う一枚を選ぶことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 3枚のポスターを観察して、描かれているものや文字の特徴、キャッチコピーなどに着目させて、複数の特徴を書き出させる。 | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの特徴について分析して考えたことを話し合わせる。 考えたことをもとに自分なりの判断を下し、最も良いと思う1枚を選ばせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 活動の観察 発表 学習シート（評価シート） |
| 3 | 「マイボトル」についてのポスターを比較し、批評文を書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 3枚のポスターのうち最も優れているものを選ばせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分が選んだポスターのどんな観点が重要だと思うのかを書かせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 教師による個別確認 原稿（発表） 評価シート |
| 4 本時 | 「チョコレート」についての3枚のポスターを観察・分析し、ポスターの意図を捉え、それぞれの違いを明らかにして販売促進のための1枚を選ぶことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 3枚のポスターを観察して、描かれているものや文字の特徴、キャッチコピーなどに着目させて、複数の特徴を書き出させる。 小グループで意見を交流し、考えを深めさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 3枚のポスターを比較し、理由を明らかにして最も良いと思う1枚を選ばせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 活動の観察 発表 学習シート（評価シート） |
| 5 | 「チョコレート」についてのポスターを比較し、批評文を書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 選んだ1枚について、説得力をもたせるために必要な情報を資料から引用させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分が選んだポスターについて、観点を明らかにし、効果的な言葉を使って批評文を書かせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 教師による個別確認 原稿（発表） 評価シート |
| 6 | 批評文を交流し、書き方や内容について気づいたことを述べることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 文章をグループで読み合い、文章の書き方や内容について気づいたことを挙げさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 説得力のある文章の書き方や引用について、誰の作品のどういう点をこれから取り入れていきたいかを話し合わせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 活動の観察 発表 評価シート |